

# 講演 気候変動の現状と施策・対策の全体像

～ 地域での実践とSDGsへの貢献のために～ **【CPD 講演会参加者募集】**

**【技術士のみなさんへ】**

主催：(公社) 日本技術士会 埼玉県支部

今、人類は岐路に立っていると言っても過言ではないかもしれません。

1700年代半ばの産業革命以前より、現時点で1.2℃の気温が上昇しており、効果的な対策を講じないまま推移すると2015年にパリ協定で定めた、上限努力目標1.5℃には僅か12年で達するとのシナリオも示されています。本年10月31日～11月12日にかけて開催されたCOP26（第26回国連気候変動枠組み条約締結国会議）で岸田首相は途上国への資金援助の増額を発表するとともに、再生可能エネルギーの最大限の導入にも言及しましたが、多くの国が廃止を目指すことを表明している石炭火力発電について廃止に触れなかったため、国際NGOから「化石賞」の対象国に選定されました。このような状況のもと企業及び家庭において、気候変動に関連してSDGsの一環としても取り組みへの検討が求められています。

今回は、NGOスタッフとして「気候変動、SDGs」に長年取り組んでこられた足立治郎氏に、気候変動の現状と施策について、その概論並びに国内外での技術開発事例などについてご講演いただきます。

コロナウイルス感染防止対策に万全を期して開催致しますのでぜひご来場下さい。

日時：2021年12月11日（土）13:20～16:45 13:05 入所受付開始

定員：54名（申し込み順） 参加費 会員技術士及び技術士補：1,500円、会員以外の方：3,000円

場所：ウエスタ川越 1階 会議室第2、第3 川越駅西口から一直線、徒歩5分 ☎049-249-3777

## <講演概要>

### 1. 気候変動とその影響

・IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第6次評価報告書第1作業部会報告書（自然科学的根拠）の紹介

### 2. 気候変動対策①：緩和策

・世界全体・日本の温室効果ガス排出量（CO<sub>2</sub>・メタン・フロン等）

・緩和策とは：SDGsの他のゴール（エネルギー・雇用・生物多様性保全等）との関係も含め

・国連等の国際動向、及び、政府（国・埼玉県等）による温室効果ガス削減のための施策（温室効果ガスごとに、技術開発・実装を後押しする施策も含め）

・民間による対策・貢献例（対策技術の開発・国内外での実装例も含め）

### 3. 気候変動対策②：適応策

・適応策とは：SDGsの他のゴール（食料・水・ジェンダー等）との関係。

国際動向、国内、民間の動向等は緩和策での項目に準じてしてお話いただく。

### 4. まとめ 世界及び日本の課題、展望

<講師プロフィール> 足立 治郎（あだち・じろう）氏

「環境・持続社会」研究センター（JACES）事務局長。化学・素材系企業勤務（営業部・人事部）を経て、1995年よりJACESスタッフ。島根県立大学非常勤講師、（一社）SDGs市民社会ネットワーク環境ユニット幹事、CSRレビューフォーラムレビュアー等を兼務。東京大学教養学部卒。著書に『環境税』（築地書館、単著）、『カーボン・レジーム』（オルタナ、共著）、『ギガトン・ギャップ—気候変動と国際交渉』（オルタナ、共著）等。

◆申込方法：日本技術士会 HP「CPD 行事等予定」の左欄「申込」ボタンよりお申し込みください。

（申込期限 11月5日）

会員 ……<https://www.engineer.or.jp/kaiin/password/als/alsw0011.php> <従来のCPD行事案内 から>

会員以外の方…<https://www.engineer.or.jp/engineer/dmsw0001.html> <一般CPD行事案内一覧 から>

注意事項：体調のすぐれない場合は参加をお控え下さい。常時マスク着用をお願い致します。

◆問い合わせ先：埼玉県支部地域活性化委員会 西部小委員会

